

Jeremy Harmer and Don Maybin

ACAPULCO VACATION

— An Exciting Radio Drama to Improve Listening Ability —

アカプルコ・バケーション — ラジオ・ドラマで伸ばす英語聴解力

Keiso Tatsukawa / Kazuaki Tsuido

Walter Davies / Kenji Tagashira



NAN'UN-DO

From "*Coast to Coast Teacher's Manual 3, First Edition*"

by Jeremy Harmer and Don Maybin

Copyright © Longman Group UK Limited 1989

This edition composed of "Acapulco Vacation" (pp. 209-214 of the Tape Script Part, Units 11-18)

from *Coast to Coast Teacher's Manual 3, First Edition* is published by arrangement with

Pearson Education Limited through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

Licensed for sale in Japan only

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission

from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

2006年度大学入試センター試験に英語リスニング問題が導入され、音声モードによる談話や情報の聴解力の測定・評価が行われるようになりました。文字モードによる情報の理解・解釈や発信を重視してきたそれまでの日本の英語教育界を振り返ると、この変革は高等学校の英語教室に大きな波及効果(backwash effect)をもたらしたことは多くの人々が認めるところです。このような時代の流れもあり、今日の大学生はいわゆるリスニング問題(とりわけ多肢選択問題)を解くテスト・スキルは向上したと言えるでしょう。

しかしながら、まとまりのある談話の概要や内容を適切に把握したり、少し長めの物語の展開を楽しむ機会は極端に少ないように感じます。ほとんどの日本人学生の場合、中学校・高等学校で少なくとも6年間は英語学習歴があり、基本的な語彙・文法・語法などの言語学的知識は備えていると考えられ、大学の授業では少し応用的なアプローチをしても良いのではないのでしょうか。学生の皆さんに、外国語である英語をまずはしっかりと聞いて、理解し、楽しむ経験をしてもらいたいと考えたのが、本テキスト執筆の第一の動機です。

このテキストは、*Coast to Coast 3* (Longman 1988) に収録されているラジオ・ドラマ *Acapulco Vacation* が原作です。IT技術などの目覚ましい発展により、多くの情報が映像で記録・再生が可能になりました。DVDをはじめとする映像は確かに、情報の量・明示性・迫力などに優れたものがあります。しかし一方、音声のみの情報には映像で明示しないがゆえに、私たちの想像(創造)力をかき立てるものがあるのではないのでしょうか。幼い頃に枕元で聞いた読み聞かせの世界に似ています。そこに登場する人物のイメージは聞き手一人ひとりによって異なります。そして何よりも物語の先を早く聞きたいなという思いを抱いて目を閉じたのではないのでしょうか。本テキストの素材となっているラジオ・ドラマは同様の特性を持ち、聞き手の想像力や期待感をくすぐる世界があります。このような体験を外国語で味わうことができたならば、どんなに素晴らしいことでしょう。*Acapulco Vacation* のストーリーには若い男女の恋や友情という普遍的な内容をベースに、環境問題や企業倫理などの現代的テーマが盛り込まれています。これらは大学生にとって馴染みのある話題であり、理解し易い素材であり、外国語学習をしているという感覚をあまり持たずに楽しんで英語リスニングに取り組むことができることでしょう。本テキスト付属CDをしっかりと聞き、準備されている練習問題に取り組むことにより、英語学習の楽しさを味わい、学生のみなさんのリスニング能力を伸ばさせる一助となれば、著者一同これ以上の喜びはありません。

最後になりましたが、本テキストの刊行にあたっては、著作権取得をはじめ企画立案から編集作業の過程で(株)南雲堂編集部の青木泰祐部長に多大な御支援をいただきました。ここに記して謝意を表したいと思います。

2008年 秋
著者一同

本書を執筆するにあたって参照した文献・資料

Oxford English Learner's Dictionary

Oxford Advanced Learner's Dictionary

Concise Oxford English Dictionary

Cambridge Learner's Dictionary

Longman Active Study Dictionary (New Edition)

『60か国 世界比較文化事典』マクミランランゲージハウス

本テキストの構成と使い方

本テキストには以下の3つの部分があります。

- | | | |
|-----|-------------------|---------------------|
| 【1】 | Introductory Unit | 登場人物や地名の確認とアカプルコの紹介 |
| 【2】 | ドラマ本体 | Episodes 1 ~ 11 |
| 【3】 | Review Unit | テスト形式の復習ユニット |

【1】 Introductory Unit

Introductory Unitでは、まず登場人物や地名の確認をします。英語の固有名詞は聞き取りにくいものも多く、正しく発音できるようになるとストーリーを理解する時に助かります。それに続いてアカプルコの紹介が、ダイアログ（会話）形式とモノログ（一人による語り）形式で示されており、物語の舞台についての理解を深めます。

【2】 ドラマ本体

ドラマ本体には3~5分のエピソードが11ほどあります。各エピソードは以下のような構成になっています。

挿絵

各エピソードの象徴的な場面を視覚化してあります。絵に盛り込まれた情報や、これからどのようなことができるかを英語で表現してみます。

Preview of Key Vocabulary 1

そのエピソードに登場する重要な語彙や表現の定義を確認し、どのように使われるかを例文で確認します。

Preview of Key Vocabulary 2

重要な語彙や表現の意味を定義と組み合わせることにより確認をします。

Confirmation of Important Expressions

空所を補充する作業を通してPreview of Key Vocabulary 1 & 2で扱った語彙や表現の定着を図ります。

Comprehension Check

エピソードの内容をどれくらい理解できているか英語で確認します。各エピソードに5つの問いが準備されています。2~3回のエピソードの聞き取りで解答できればよいと思います。

Dictation

音声変化や慣用表現を含む文(5箇所程度)を選び、その部分を英語で書き取りをします。登場人物の会話のやり取り(interaction)やドラマの展開(context)において重要な部分をできるだけ扱うようにしました。

Episode Summary

まとめとしてエピソードの要約を示し、空所を埋める作業です。本テキストはリスニング教材ですが、他技能(リーディング)との統合を目指した内容理解を確かめる問題です。

Prediction

11個のエピソードは1つのドラマとしての展開を支えています。言い換えますと、各エピソードはそれ以前の出来事が前提となっています。それ故、次のエピソードではどんなことが起こるかに関心を持ち、展開を予想したりすることはごく自然なことです。次には何が起こるかを簡単にメモします。

Cultural Note

各エピソードに関わりのある土地・人物・文化・歴史などを紹介してあります。(スペースの都合でPreview of Key Vocabulary 2の後に載せてありますが、授業の展開に合わせて柔軟に扱う方が適切でしょう。)

[3] Review Unit

Review Unitでは、復習のためのユニットとしていろいろな確認テストを準備してみました。付属CDの各エピソードをしっかりと活用して復習し、問題に取り組んでみます。

なお、付属CDは学生の自習(主には復習)用に準備していますが、先生方の授業スタイルに合わせて活用いただければと思います。学生みなさんに英語の音声に触れる時間をできるだけ多く確保する目的で、ドラマの本体部分のみを収録した学生用CDを付けました。

TABLE OF CONTENTS

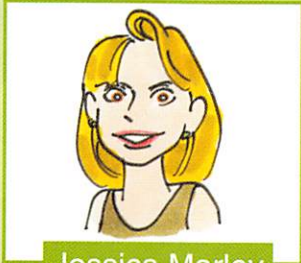
はじめに		3
本テキストの構成と使い方		5
Introductory Unit		8
Episode 1	A Good-looking Man	12
Episode 2	Mitch's Story	18
Episode 3	Mr. Freeman	24
Episode 4	Facts and Photographs	30
Episode 5	Be Careful	36
Episode 6	Mitch in Danger	42
Episode 7	Joseph	48
Episode 8	<i>The Tampa Queen</i>	54
Episode 9	Missing	60
Episode 10	Rescue!	66
Episode 11	After the Storm	72
Review Unit		78



ACAPULCO VACATION

Introductory Unit

Main characters in the story



Jessica Marley

trainee journalist,
the *Daily Reporter*



Amy Rosario

trainee journalist,
the *Daily Reporter*



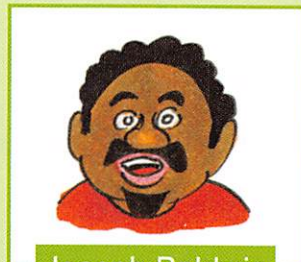
Bill Elliot

editor,
the *Daily Reporter*



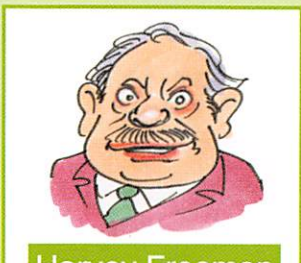
Mitch Carlton

research chemist,
Eastward Chemicals



Joseph Baldwin

Mitch's friend,
captain of a small fishing boat



Harvey Freeman

president,
Eastward Chemicals



Saul Brando

gangster, secretly employed
by Harvey Freeman

Places in the story



Other names in the story

the *Daily Reporter* (新聞社の名前)

Eastward Chemicals (化学製品会社の名前)



the *Tampa Queen* (船の名前, 英語では「女性名詞」扱いすることが多い)

the Delta (物語に登場するテキサス州の三角州地帯)


会話の聞き取り Dialogue about Acapulco

Mary and Kenji are college students in Japan and are talking in a campus cafe.



Listen to the following dialogue  2  1-2

- Mary: Say, Kenji, did I tell you that Hideko and I visited Mexico last month?
- Kenji: No. Please tell me about it.
- Mary: First, we flew to Mexico City, the capital of Mexico, and stayed there for two days. But we didn't like it very much because there were so many cars and people.
- Kenji: Yeah, I hear the air in the city is not so clean.
- Mary: Then, we moved on to Acapulco, a popular resort on the Pacific Ocean.
- Kenji: I've heard a lot about it. It's world-famous and a lot of rich people own villas there.
- Mary: That's right, but things in the local shops were very cheap and the food was delicious. Also, the weather was perfect.
- Kenji: I wish I'd been there with you.
- Mary: Here are my photos. Look at this one. I'll never forget that beautiful sunset on the beach.
- Kenji: Wow! This is so gorgeous.

Answer the questions you hear about the dialogue.  1-3

モノログによる Acapulco 紹介の聞き取り

Monologue Introducing Acapulco

Listen to the following monologue.



1-4



Acapulco is a popular resort city in Mexico. Its official name is Acapulco de Juárez, but most people just call it Acapulco. It lies on the Pacific Ocean, and is located about 300 km southwest of Mexico City. The population of Acapulco is around 600,000. The local people speak Spanish, but many also understand English.

About three million people visit Acapulco every year. Its warm, sandy beaches are lined with many world-famous hotels. It is especially popular with North American tourists. The film *Fun in Acapulco* (1963), starring Elvis Presley, showed the beauty of the scenery.

Acapulco has been an important trading port for a long time. Hasekura Tsunenaga of the old Sendai district visited Acapulco on his way to Rome to meet the Pope in 1613. Hasekura was on a mission sent by Lord Date Masamune. It was probably the first official contact between Japan and Acapulco. Today, Acapulco is a sister city of Sendai in Miyagi Prefecture and several other cities in Japan.

Answer the questions you hear about the monologue.



1-5